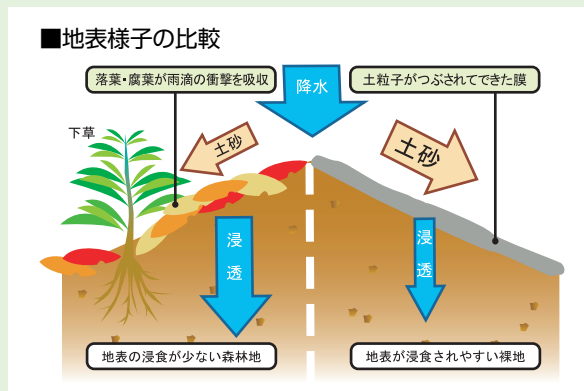
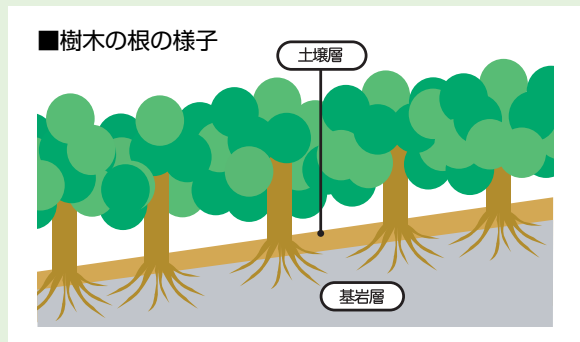


## 2. 県土の保全

【表面浸食防止、表層崩壊防止、その他土砂災害防止、雪崩防止、防風、防雪】

森林の土壌は、落ち葉や下草に覆われています。雨が土壌表面にぶつかった時、この落ち葉や下草が土砂の飛散を防いでいます。また樹木の根は地中に広く深く伸び、岩の亀裂にまで入り込みます。土壌と岩盤との境界を、根がしっかりと固定しているため山崩れが起こりにくくなります。



## 3. 地球温暖化の防止【二酸化炭素の吸収、化石燃料に替わる資源】

森林は光合成により二酸化炭素を吸収し、炭素を固定して、地球の温暖化防止に重要な役割を果たしています。日本の森林が、光合成によって吸収する二酸化炭素は年間約1億トンで、これは国内の二酸化炭素排出量の8%、国内の全自家用乗用車の排出する量の7割に相当します。

また、木材の利用も地球温暖化防止に貢献しています。木造住宅は第2の森林ともいうように、住宅1棟(床面積136㎡)を建設する時に必要な材料の製造にかかるエネルギー消費から、放出される炭素の量を試算すると、木造住宅は鉄骨プレハブ造、RC造住宅のそれぞれ1/3、1/4の炭素放出量です。また住宅などに利用することで炭素を長期間保存することとなり、大気への二酸化炭素の放出を少なくするという役割を果たしています。

